

令和5年度 国立病院機構金沢医療センター附属看護学校 学校関係者評価について

越野 まゆみ

本年度、学校関係者委員会に出席させていただき、外部評価者として気づいたことを述べさせていただきます。

令和5年度、COVID-19が5類感染症に移行し看護基礎教育においては多少の影響は残るものの、感染対策を継続しながら学生の学びに不利益が無いよう細やかな教育活動への配慮や工夫がなされていたことがわかりました。病院、地域での臨地実習においても、母体病院をはじめ多くの実習施設との連携を大切にして教育活動を進めておられることも確認できました。

今後もさらに組織的、継続的な検討を重ねられ、さらに質の高い看護基礎教育が実践されることを期待できると思われました。以下、項目別に何点か述べさせていただきます。

教育理念・目的・目標

教育理念・教育目的は国立病院機構の理念を反映し学習の指針となるよう具体的に示されていました。また教員間での共有はもちろんのこと、実習施設関係者との共有にも務められており一貫した教育活動の基盤が整えられていました。

在学生、入学希望者への説明も機会をとらえ行われることが示されており、明確な指針となっていることが確認できました。高齢社会や医療の高度化、専門化に伴う社会の変化、人々が多様化、複雑化するなかでのニーズに対応し看護を創造し誠実に行動できる人材育成がされていると思われました。

教育課程

学習の順序性、関連性を十分に考え教育課程が編成され、関連機関との細やかな連携もされており、高い教育効果が期待できるようになっていると思います。

また学生の意向、意見、学びを反映した評価が行われており、学生を主体に教育課程が編成されていることがわかります。

教育活動・教育指導のあり方

教育活動について、授業の公開、教員間の協力など切磋琢磨しながら教育活動の質の向上を目指す計画が具体的に立案、実施されていました。さらに丁寧な評価を重ね、改善されていることも確認できました。

学生と意見を交わす機会を大切にして様々な状況に適切に対応されていることが確認できました。

学生生活への支援

学生を支援していく上で、学生の背景、状況により個別の対応が必要になることも多くなっていると思います。今後も学生の主体性を育みながら細やかな支援の継続がなされることを願います。

教育・研修活動

研究活動や研修支援体制を整える組織体系があり、組織の大きな力となっていくことが期待されると思われました。

学校評価

ワーキンググループにおける評価への取り組みは教員個々の教育活動の改善に繋がり、学校運営への高い意識が育まれていると感じました。